

変額保険 グローバルミックス

【引受保険会社】



アクサ生命保険株式会社

〒108-8020 東京都港区白金1 17 3

四半期運用レポート

2009年4月～2009年6月

【利用する投資信託の委託会社】

アクサ・ローゼンバーグ証券投信投資顧問株式会社



アクサ・ローゼンバーグは、マルチ・エキスパートによる資産運用業務をグローバルに展開するアクサ・インベストメント・マネージャーズの日本法人として、機関投資家の資金や投資信託の運用を行う資産運用会社です。1987年の日本進出以来、ファンダメンタルズ情報と最新の運用テクノロジーを結合することにより、一貫した投資哲学に基づく株式のアクティブ運用を行うとともに、債券、オルタナティブ投資商品といった幅広い投資家のニーズに応える高品質な運用商品を提供しています。

特別勘定の運用方針について

基本資産 配分比率	運用方針	利用する投資信託	
		投資信託名	委託会社
株式 50%	日本国債をはじめとする債券及び日本・米国・欧州の株式に分散投資することにより、中長期での資産の安定的な成長をめざします。外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行います。 基本資産配分は、株式50%程度、債券50%程度とします。 運用の決定にあたっては、収益性、安全性、流動性に配慮し、運用環境の動向に応じた資産配分を行います。 (特別勘定の運用は、アクサ生命保険株式会社 ファンドマネジメント・チームが行います。)	アクサ・ローゼンバーグ・日本株式ファンド(A) 適格機関投資家私募	アクサ・ローゼンバーグ 証券投信投資顧問株式会社
		アクサ・ローゼンバーグ・日本バリュー株式ファンド(B) 適格機関投資家私募	
		アクサ・ローゼンバーグ・米国株式ファンド(A) 適格機関投資家私募	
		アクサ・ローゼンバーグ・欧州株式ファンド(A) 適格機関投資家私募	
		アクサ・ローゼンバーグ・日本債券ファンド(B) 適格機関投資家私募	
債券 50%			

特別勘定の運用方針、利用する投資信託および委託会社等の運用協力会社は、将来変更されることがあります。

特別勘定には、各種支払等に備え、一定の現金、預金等を保有することがあります。

- ・アクサ生命保険株式会社の「変額保険」は、特別勘定で運用を行う保険商品です。特別勘定の主たる運用手段として投資信託を用いますが、投資信託ではありません。
- ・当資料は、アクサ生命保険株式会社の「変額保険」の運用状況等を開示するためのものであり、生命保険の募集を目的としたものではありません。
- ・当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から取得した情報に基づき作成した部分を含んでおりますが、その部分の正確性・完全性については、これを保証するものではありません。
- ・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- ・商品内容の詳細については「リファレンスブック」、「ご契約のしおり・約款」、「特別勘定のしおり」をあわせてご覧ください。
- ・当資料に記載されている各表にある金額、比率、資産構成等はそれぞれの項目を四捨五入等していますので、合計等と合致しないことがあります。

変額保険

特別勘定の四半期運用レポート (2009年4月～2009年6月)

- ・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- ・当ページは、各種の信頼できると考えられる情報源から取得した情報に基づき、アクサ生命保険株式会社が作成し提供するものです。情報の内容に関しては万全を期しておりますが、その正確性・完全性については、これを保証するものではありません。

運用環境 [2009年4月～2009年6月]

【日本株式市場】

日本株式市場は、上昇基調で推移しました。TOPIX(東証株価指数)は3月末比+20.18%上昇の929.76ポイントで終了しました。国内外の一連の政策対応により、世界的な景気底入れと金融システム安定化への期待から、大幅に上昇して始まりました。新型インフルエンザの感染拡大懸念や高値警戒感による利益確定売りから、一時的に下落する局面もありましたが、アジア株高なども好感され、概ね6月中旬まで上昇基調で推移しました。その後は、2009年世界経済成長率予想の下方修正などを嫌気して、上値の重い展開となりました。業種別(東証33業種)では、株式市場の上昇を受けて「証券・商品先物取引業」(3月末比+57.40%)が最も上昇した一方、新型インフルエンザなどの影響で業績が厳しい「空運業」(同-10.18%)が最も下落しました。

【外国株式市場】

外国株式市場は、揉み合いながらも堅調に推移しました。米国株式市場は上昇し、NYダウは3月末比+11.01%上昇の8,447.00ポイントで終了しました。米企業の予想外的好決算発表や景気後退の緩和を示唆する指標が相次ぎ、上昇して始まりました。米自動車大手破綻の実体経済への影響や米財政赤字などが嫌気される一方、米大手金融機関が資産査定(ストレステスト)を無事に通過したことなどが追い風となり、上昇基調が継続しました。6月中旬以降は、利益確定売りや過度な景気底入れ期待が後退したことなどから、軟調な展開となりました。欧州株式市場も米国同様の動きとなり、景気底入れ期待を背景に底堅く推移し、市場別騰落率は、英FT100は3月末比+8.23%上昇、仏CAC40は同+11.87%上昇、独DAXは同+17.72%上昇となりました。

【日本債券市場】

日本債券市場は、債券売り優勢で始まりましたが、6月中旬以降は買い戻される展開となりました。新発10年国債利回りは6月末1.350%となりました(3月末は1.340%)。景気底入れ期待を背景とする内外株高と追加経済対策に伴う国債増発による需給悪化懸念が高まったことなどから売りが優勢となり、6月中旬には2008年10月以来となる1.5%台半ばまで上昇しました。その後は、堅調な国債の入札結果から需給悪化懸念が後退したことに加え、軟調な経済指標が相次いで発表されたことなどから、買い戻される展開となりました。日銀は、政策金利を据え置き、年0.1%を維持しました。無担保コール(翌日物)は0.1%程度の水準で推移しました。

【外国債券市場】

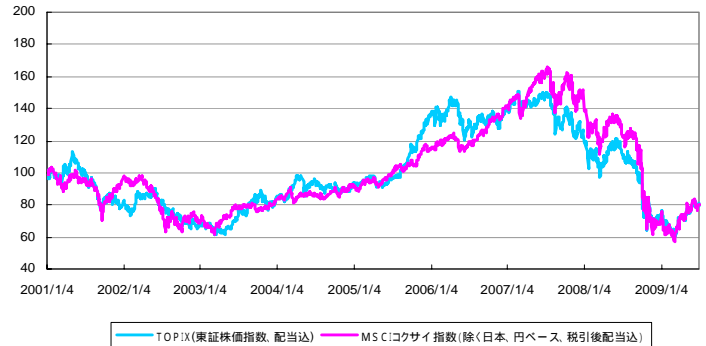
米国債券市場は、景気底入れ期待や国債増発による需給悪化・米国価格下げ懸念などが高まったことから債券売りが優勢となり、6月中旬には米10年国債利回りは一時4%台まで上昇しました。その後は、過度な景気底入れ期待の後退やFRB(米連邦準備制度理事会)が当面実質ゼロ金利政策を継続するとの見方が高まったことなどから、買い戻される展開となりました。米10年国債利回りは、6月末3.533%となりました(3月末は2.663%)。欧州債券市場は、独5月ZEW景況感指数が大幅に改善するなど堅調な経済指標などに支えられ売り優勢で始まりました。6月に入り、域内経済指標が軒並み鈍化したことなどから景気低迷が長引く懸念が高まり、買い優勢となりました。独10年国債利回りは、6月末3.386%となりました(3月末は2.994%)。FRBは、FF(フェデラル・ファンド)金利の誘導目標を据え置き、年0.0-0.25%を維持しました。ECB(欧州中央銀行)は政策金利を0.5%引き下げ、過去最低水準である年1.0%としました。

【外国為替市場】

外国為替市場は、米財政悪化懸念などにより、米ドルは円やユーロに対して概ね軟調に推移しました。また、世界的な景気底入れ期待からリスク選好が回復し、ユーロは円や米ドルに対して概ね堅調に推移しました。米ドル/円相場は、4月上旬に100円台まで円安が進行した後、揉み合いながらも円高基調で推移しました。円は対ドルで3月末比2円22銭(+2.26%)円高ドル安の1ドル=96円01銭となりました。ユーロ/円相場は、4月下旬に欧州の景気悪化懸念などから125円台まで円高が進行した後は、ユーロへの資金流入が優勢となり、概ね円安基調となりました。円は対ユーロで3月末比5円69銭(4.38%)円安ユーロ高の1ユーロ=135円53銭となりました。

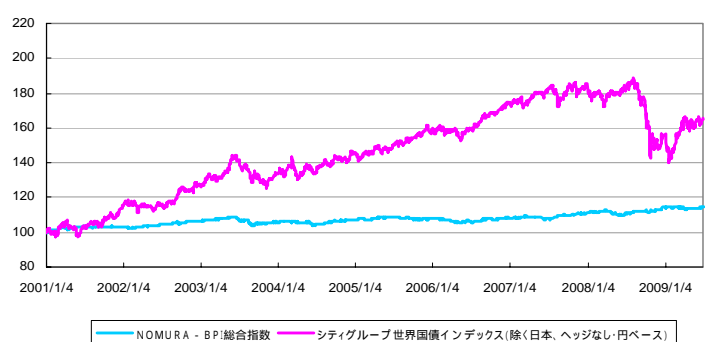
日本と外国の株式市場の推移

*下記グラフは2001年1月4日を100として指数化しています。

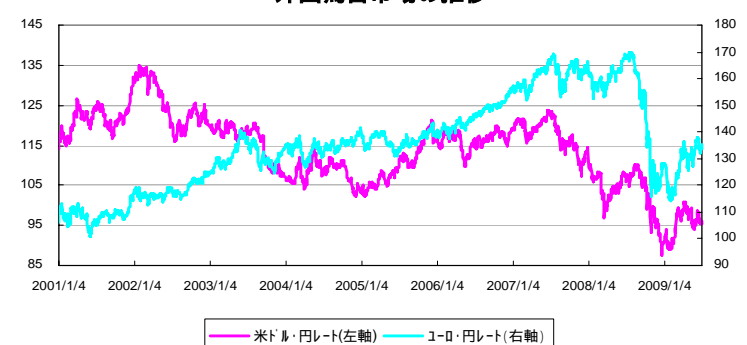


日本と外国の債券市場の推移

*下記グラフは2001年1月4日を100として指数化しています。



外国為替市場の推移



出所：株式会社三菱東京UFJ銀行の対顧客電信相場仲値

【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社

お問合せ先： カスタマーサービスセンター

Tel 0120-778-133

アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/life/>

変額保険

特別勘定の四半期運用レポート（2009年4月～2009年6月）

- 当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- 特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社の裁量の範囲外となります。

特別勘定の運用状況 [2009年6月 末日現在]

特別勘定のINDEXの推移

特別勘定のINDEXは、特別勘定で利用している投資信託の基準価額とは異なります。



	2009年6月末	2009年5月末	2009年4月末	2009年3月末	2009年2月末	2009年1月末
INDEX	0.804	0.792	0.771	0.740	0.731	0.764
騰落率(%)	過去1ヵ月 1.54	過去3ヵ月 8.77	過去6ヵ月 2.82	過去1年 13.20	過去3年 15.46	設定来 19.55

特別勘定のINDEXは、2000年8月1日を1.00として計算しています。

騰落率は、該当月の月末のINDEXに対する当月末のINDEXの変動率を表しています。

特別勘定資産の内訳

項目	金額(千円)	比率(%)
現預金・コールローン	631,075	2.0
その他有価証券	31,084,440	98.0
アクサ ローゼンバーグ・日本株式ファンド(A)	3,205,861	10.1
アクサ ローゼンバーグ・日本バリュー株式ファンド(B)	4,806,456	15.2
アクサ ローゼンバーグ・米国株式ファンド(A)	4,765,492	15.0
アクサ ローゼンバーグ・欧州株式ファンド(A)	3,110,617	9.8
アクサ ローゼンバーグ・日本債券ファンド(B)	15,196,011	47.9
合計	31,715,515	100.0

各特別勘定で利用している国内投資信託は、いずれも「その他有価証券」の項目に含まれています。

金額の単位未満は切捨てとしました。また、比率については小数点第二位を四捨五入しています。

特別勘定の運用コメントおよび今後の運用方針

当期のINDEX騰落率等は上記をご参照願います。

資産配分につきましては、基本資産配分を概ね維持しております。(株式部分は、日本株式25%、欧米株式25%の資産配分といたしました。)

今後も引き続き、運用方針に沿って運用を行う予定ですが、将来の市場環境の変動等により、当該運用方針が変更されることがあります。

【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社

お問合せ先: カスタマーサービスセンター

Tel 0120-778-133

アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/life/>

変額保険

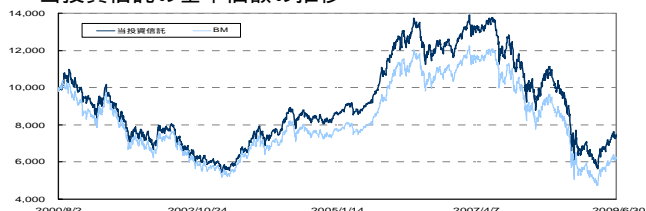
特別勘定の四半期運用レポート（2009年4月～6月）

- 当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知ください。
- 特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社の裁量の範囲外となります。
- 当ページは、利用する投資信託の委託会社による運用報告を、アクサ生命保険株式会社が提供するものであり、内容に関して、アクサ生命保険株式会社は一切責任を負いません。

アクサ ローゼンバーグ・日本株式ファンド(A) 適格機関投資家私募 の運用状況

[2009年6月末日現在]

当投資信託の基準価額の推移



投資信託の設定日(2000年8月3日)の前日を10,000として指数化しています。

当投資信託の騰落率

	過去 1ヵ月	過去 3ヵ月	過去 6ヵ月	過去 1年	過去 3年	設定来
投資信託	3.59%	19.50%	7.35%	27.51%	38.76%	25.23%
BM	3.55%	20.18%	8.21%	29.57%	41.41%	37.29%
差	0.04%	0.68%	0.86%	2.06%	2.65%	12.06%

マザーファンド受益証券の詳細情報 業種別構成比率

業種	マザーファンド
1 電気機器	12.35%
2 銀行業	10.70%
3 輸送用機器	10.23%
4 情報・通信業	7.04%
5 卸売業	6.60%
6 化学	6.09%
7 小売業	5.95%
8 医薬品	5.24%
9 その他業種	35.51%
10 現金等	0.29%
合計	100.00%

組入上位10銘柄

銘柄	業種	マザーファンド
1 トヨタ自動車	輸送用機器	3.91%
2 三菱UFJフィナンシャル・グループ	銀行業	3.33%
3 キヤノン	電気機器	1.79%
4 本田技研工業	輸送用機器	1.67%
5 三井住友フィナンシャルグループ	銀行業	1.54%
6 武田薬品工業	医薬品	1.47%
7 エス・ティ・ティ・ドコモ	情報・通信業	1.43%
8 日本電信電話	情報・通信業	1.29%
9 東京電力	電気・ガス業	1.14%
10 東日本旅客鉄道	陸運業	1.10%
合計		18.68%
組入銘柄数		434銘柄

上記銘柄は、推奨または取得の申込みの勧誘を行うものではありません。

当投資信託の運用コメントおよび今後の運用方針

投資信託の収益率は前四半期比+19.50%となりました。一方、ベンチマークである東証株価指数(TOPIX)の収益率は、前四半期比+20.18%となりました。当期の日本株式市場は、純資産利回りが高い銘柄が相対的に上昇する基調にあり、当投資信託ではこれらの銘柄をベンチマーク対比で多めに保有していたことはプラスへ寄与したものの、委託会社独自の業種別では、下落した銀行や食品をベンチマーク対比多めに保有していたことはマイナスに寄与しました。

個別銘柄では、下落した本田技研工業(7267)やトヨタ自動車(7203)を多めに保有していたことや、上昇した住友不動産(8830)を少なめに保有していたことはいずれもマイナスに寄与しました。

当投資信託の運用方針は、わが国の企業の株式から、個別銘柄の市場価格が、適正と考えられる価格に比べて過小に評価されていると判断される「割安株」を選別し、ポートフォリオをベンチマークからの乖離が一定の範囲内に収まるよう構築することで、中・長期的な観点から安定的にベンチマークを上回る運用を目指します。割安株の選別は、独自に開発したシステムティックなモデル(定量分析)を幅広い銘柄に適用し、個別企業の財務諸表および企業収益の変化等の要因からみた割安度に着目して、個別企業を詳細に分析・評価するボトムアップ・アプローチにより行なうことを基本とします。

将来の市場環境の変動等により、今後の運用方針通りに運用できないことがあります。

利用する投資信託について

【投資信託名】 アクサ ローゼンバーグ・日本株式ファンド(A) 適格機関投資家私募
【委託会社】 アクサ・ローゼンバーグ証券投資顧問株式会社
【運用方針】

マザーファンド受益証券への投資を通じて、実質的に、主として日本の株式を対象に投資を行い、信託財産の中長期的な成長を図ることをめざします。定量スクリーニングによって割安度が高く、かつ成長性の高い銘柄を中心に投資します。

当投資信託は、主としてアクサ ローゼンバーグ・日本株式マザー・ファンド受益証券 適格機関投資家私募 に投資します。

設定来の騰落率は、投資信託の設定日(2000年8月3日)の前日を起点として計算しています。投資信託の騰落率は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。

また、投資信託の騰落率と実際の投資家利回りとは異なります。

「BM」とは、ベンチマークを指します。ベンチマークは、東証株価指数(TOPIX)¹⁾です。

・比率は、マザーファンド受益証券における純資産総額比となります。

市場別構成比率

市場	マザーファンド
1 東京証券取引所第一部	95.84%
2 大阪証券取引所第一部	3.87%
3 現金等	0.29%
合計	100.00%

・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しています。

・4ページ～8ページに記載されている「*1～*4」の用語説明は、9ページに記載しています。

【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社

お問合せ先: カスタマーサービスセンター

Tel 0120-778-133

アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/life/>

変額保険

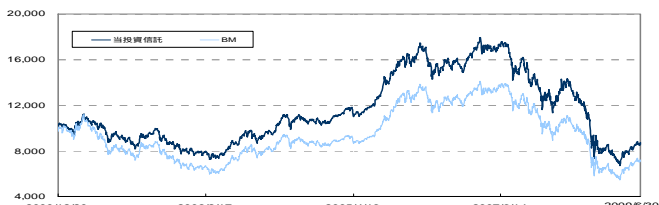
特別勘定の四半期運用レポート (2009年4月～6月)

- 当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- 特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社の裁量の範囲外となります。
- 当ページは、利用する投資信託の委託会社による運用報告を、アクサ生命保険株式会社が提供するものであり、内容に関して、アクサ生命保険株式会社は一切責任を負いません。

アクサ ローゼンバーク・日本バリュー株式ファンド(B) 適格機関投資家私募 の運用状況

[2009年6月末日現在]

当投資信託の基準価額の推移



投資信託の設定日(2000年12月21日)の前日を10,000として指数化しています。

当投資信託の騰落率

	過去 1ヵ月	過去 3ヵ月	過去 6ヵ月	過去 1年	過去 3年	設定来
投資信託	3.44%	17.86%	3.53%	34.09%	43.60%	12.61%
BM	3.55%	20.18%	8.21%	29.57%	41.41%	27.89%
差	0.10%	2.32%	4.68%	4.52%	2.19%	15.28%

マザーファンド受益証券の詳細情報 業種別構成比率

業種	マザーファンド
1 医薬品	13.54%
2 輸送用機器	10.23%
3 小売業	8.88%
4 食料品	8.40%
5 電気機器	8.22%
6 化学	7.93%
7 銀行業	6.51%
8 情報・通信業	6.03%
9 その他業種	29.59%
10 現金等	0.67%
合計	100.00%

利用する投資信託について

【投資信託名】 アクサ ローゼンバーク・日本バリュー株式ファンド(B) 適格機関投資家私募
 【委託会社】 アクサ・ローゼンバーク証券投信投資顧問株式会社
 【運用方針】

マザーファンド受益証券への投資を通じて、実質的に、主として日本の株式を対象に投資を行い、信託財産の中長期的な成長を図ることをめざします。定量スクリーニングによって割安度が高く、かつ成長性の高い銘柄を中心に積極的に投資します。

当投資信託は、主としてアクサ ローゼンバーク・日本バリュー株式マザー・ファンド受益証券 適格機関投資家私募 に投資します。

設定来の騰落率は、投資信託の設定日(2000年12月21日)の前日を起点として計算しています。

投資信託の騰落率は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。

また、投資信託の騰落率と実際の投資家利回りは異なります。

「BM」とは、ベンチマークを指します。ベンチマークは、東証株価指数(TOPIX)¹⁾です。

・比率は、マザーファンド受益証券における純資産総額比となります。

市場別構成比率

市場	マザーファンド
1 東京証券取引所第一部	92.83%
2 大阪証券取引所第一部	3.21%
3 ジャスダック証券取引所	1.49%
4 東京証券取引所第二部	1.27%
5 名古屋証券取引所	0.35%
6 大阪証券取引所第二部	0.18%
7 現金等	0.67%
合計	100.00%

組入上位10銘柄

銘柄	業種	マザーファンド
1 武田薬品工業	医薬品	3.05%
2 エヌ・ティ・ティ・ドコモ	情報・通信業	3.00%
3 日産自動車	輸送用機器	2.63%
4 アステラス製薬	医薬品	2.57%
5 日本たばこ産業	食料品	2.39%
6 ジェイ エフ イー ホールディングス	鉄鋼	2.31%
7 トヨタ自動車	輸送用機器	2.10%
8 富士フイルムホールディングス	化学	1.93%
9 キリンホールディングス	食料品	1.90%
10 第一三共	医薬品	1.78%
合計		23.66%
組入銘柄数		388銘柄

上記銘柄は、推奨または取得の申込みの勧誘を行うものではありません。

当投資信託の運用コメントおよび今後の運用方針

投資信託の収益率は前四半期比+17.86%となりました。一方、ベンチマークである東証株価指数(TOPIX)の収益率は、前四半期比+20.18%となりました。当期の日本株式市場は、純資産利回りが高い銘柄が相対的に上昇する基調にあり、当投資信託ではこれらの銘柄をベンチマーク対比で多めに保有していたことはプラスへ寄与したものの、委託会社独自の業種別では、上昇した自動車やその他金融を少なめに保有していたことや、下落した石油を多めに保有していたことはいずれもマイナスに寄与しました。個別銘柄では、下落した国際石油開発帝石(1605)、エヌ・ティ・ティ・ドコモ(9437)を多めに保有していたことや、上昇した野村ホールディングス(8604)を保有していなかったことはいずれもマイナスに寄与しました。

当投資信託の運用方針は、わが国の企業の株式から、個別銘柄の市場価格が、適正と考えられる価格に比べて過小に評価されていると判断される「割安株」を選別し、積極的に投資することで、ベンチマークを中・長期的に上回る運用を目指します。割安株の選別は、独自に開発したシステムティックなモデル(定量分析)を幅広い銘柄に適用し、個別企業の財務諸表および企業収益の変化等の要因からみた割安度に着目して、個別企業を詳細に分析・評価するボトムアップ・アプローチにより行なうことを基本とします。

将来の市場環境の変動等により、今後の運用方針通りに運用できないことがあります。

・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しています。

・4ページ～8ページに記載されている「*1～*4」の用語説明は、9ページに記載しています。

[引受保険会社]

アクサ生命保険株式会社

お問合せ先: カスタマーサービスセンター

Tel 0120-778-133

アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/life/>

変額保険

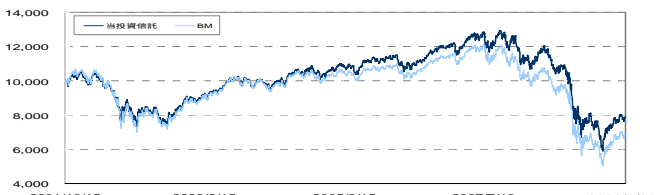
特別勘定の四半期運用レポート (2009年4月～6月)

- 当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知ください。
- 特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社の裁量の範囲外となります。
- 当ページは、利用する投資信託の委託会社による運用報告を、アクサ生命保険株式会社が提供するものであり、内容に関して、アクサ生命保険株式会社は一切責任を負いません。

アクサ ローゼンバーグ・米国株式ファンド(A) 適格機関投資家私募 の運用状況

[2009年6月末日現在]

当投資信託の基準価額の推移



投資信託の設定日(2001年10月16日)の前日を10,000として指数化しています。

当投資信託の騰落率

	過去 1ヵ月	過去 3ヵ月	過去 6ヵ月	過去 1年	過去 3年	設定来
投資信託	2.44%	14.08%	4.31%	27.45%	28.42%	21.08%
BM	2.21%	17.60%	6.35%	28.55%	34.24%	31.11%
差	0.23%	3.52%	2.04%	1.10%	5.82%	10.03%

マザーファンド受益証券の詳細情報 セクター別構成比率

セクター	マザーファンド
1 エネルギー	10.55%
2 医薬品・バイオテク・ライフ	9.45%
3 テクノロジー・ハードウェア	8.83%
4 ソフトウェア・サービス	8.74%
5 食品・飲料・タバコ	6.93%
6 医薬品・バイオテク・ライフ	5.61%
7 資本財	5.58%
8 小売	5.39%
9 その他業種	37.80%
10 現金	1.12%
合計	100.00%

組入上位10銘柄

銘柄	国名	セクター	マザーファンド
1 EXXON MOBIL CORPORATION	アメリカ	エネルギー	4.26%
2 MICROSOFT CORP	アメリカ	ソフトウェア・サービス	2.45%
3 INTL BUSINESS MACHINES CORP	アメリカ	テクノロジー・ハードウェア	2.10%
4 JOHNSON & JOHNSON	アメリカ	医薬品・バイオテク・ライフ	1.88%
5 JPMORGAN CHASE & CO	アメリカ	各種金融	1.69%
6 PROCTER & GAMBLE CO	アメリカ	家庭用品・パーソナル用品	1.59%
7 PFIZER INC	アメリカ	医薬品・バイオテク・ライフ	1.58%
8 AT&T INC	アメリカ	電気通信サービス	1.53%
9 PHILIP MORRIS INTERNATIONAL INC	アメリカ	食品・飲料・タバコ	1.42%
10 CHEVRON CORP	アメリカ	エネルギー	1.36%
合計			19.86%
組入銘柄数			323銘柄

上記銘柄は、推奨または取得の申込みの勧誘を行うものではありません。

当投資信託の運用コメントおよび今後の運用方針

投資信託の収益率は前四半期比+14.08%となりました。一方、ベンチマークであるS&P500種株価指数(為替ヘッジコスト相当分を調整して得たもの)の収益率は前四半期比+17.60%となりました。当期の米国株式市場は、市場全体に対し比較的堅調であった銘柄が相対的に下落する基調にあり、当投資信託ではこれらの銘柄をベンチマーク対比で多めに保有していたことはマイナスへ寄与しました。委託会社独自の業種別では、上昇したソフトウェアを多めに保有していたことや、下落した石油メジャーや防衛関連を少なめに保有していたことはいずれもプラスに寄与しました。個別銘柄では、上昇した各種金融のBank of America Corporation、American Express Company、The Goldman Sachs Group, Inc.を少なめに保有していたことはマイナスに寄与しました。

当投資信託の運用方針は、米国企業の株式の中で、個別銘柄の市場価格が、適正と考えられる価格に比べて過小に評価されていると判断される「割安株」を選別してポートフォリオを構築することで、ベンチマークを中長期的に安定的に上回る運用を目指します。割安株の選別は、銘柄選択用クオンツモデル(定量分析)等により、個別企業の財務諸表および企業収益の変化等の要因からみた割安度に着目し、個別企業を詳細に分析・評価するボトムアップ・アプローチにより行なうことを基本とします。

将来の市場環境の変動等により、今後の運用方針通りに運用できないことがあります。

利用する投資信託について

【投資信託名】 アクサ ローゼンバーグ・米国株式ファンド(A) 適格機関投資家私募
【委託会社】 アクサ・ローゼンバーグ証券投信投資顧問株式会社
【運用方針】

マザーファンド受益証券への投資を通じて、実質的に、主として米国の企業が発行する株式を対象に投資を行い、個別銘柄の市場価格が、適正と考えられる価格に比べて過小に評価されていると判断される「割安株」(バリューストック)を選別してポートフォリオを構築することで、ベンチマークを中長期的にみて、安定的に上回る運用をめざします。外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行います。

当投資信託は、主としてアクサ ローゼンバーグ・米国株式マザーファンド受益証券 適格機関投資家私募 に投資します。

設定来の騰落率は、投資信託の設定日(2001年10月16日)の前日を起点として計算しています。投資信託の騰落率は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。

また、投資信託の騰落率と実際の投資家利回りは異なります。

「BM」とは、ベンチマークを指します。ベンチマークは、S&P500種株価指数²(為替ヘッジコスト相当分を調整して得たもの/円ベース)です。

比率は、マザーファンド受益証券における純資産総額比となります。

・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しています。

・4ページ～8ページに記載されている「*1～*4」の用語説明は、9ページに記載しています。

[引受保険会社]

アクサ生命保険株式会社

お問合せ先: カスタマーサービスセンター

Tel 0120-778-133

アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/life/>

変額保険

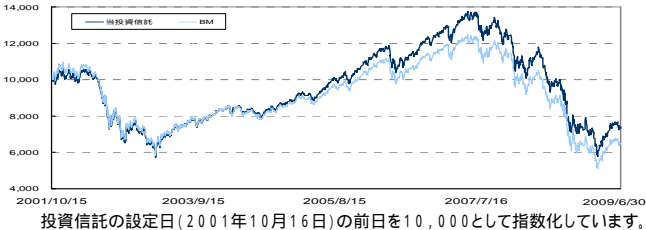
特別勘定の四半期運用レポート (2009年4月～6月)

- ・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- ・特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社の裁量の範囲外となります。
- ・当ページは、利用する投資信託の委託会社による運用報告を、アクサ生命保険株式会社が提供するものであり、内容に関して、アクサ生命保険株式会社は一切責任を負いません。

アクサ ローゼンバーグ・欧州株式ファンド(A) 適格機関投資家私募 の運用状況

[2009年6月末日現在]

当投資信託の基準価額の推移



当投資信託の騰落率

	過去 1ヵ月	過去 3ヵ月	過去 6ヵ月	過去 1年	過去 3年	設定来
投資信託	0.83%	17.46%	1.95%	26.09%	32.01%	25.59%
BM	0.92%	18.31%	2.25%	27.42%	36.18%	34.50%
差	0.10%	0.85%	0.30%	1.33%	4.17%	8.91%

マザーファンド受益証券の詳細情報 国別構成比率

	国名	マザーファンド
1	イギリス	29.90%
2	フランス	13.85%
3	スイス	11.48%
4	ドイツ	10.59%
5	オランダ	7.61%
6	スペイン	6.55%
7	イタリア	5.46%
8	スウェーデン	3.55%
9	その他の国	9.01%
10	現金等	2.02%
合計		100.00%

組入上位10銘柄

	銘柄	国名	セクター	マザーファンド
1	VODAFONE GROUP PLC	イギリス	電気通信サービス	2.77%
2	TELEFONICA S.A.	スペイン	電気通信サービス	2.47%
3	NOVARTIS AG-REG SHS	スイス	医薬品・バイオテクノ・ライフ	2.42%
4	GLAXOSMITHKLINE PLC	イギリス	医薬品・バイオテクノ・ライフ	2.40%
5	BP PLC	イギリス	エネルギー	2.19%
6	ROYAL DUTCH SHELL PLC-A SHS	オランダ	エネルギー	2.14%
7	HSBC HOLDINGS PLC	イギリス	銀行	2.11%
8	NESTLE SA-REGISTERED	スイス	食品・飲料・タバコ	2.01%
9	ASTRAZENECA PLC	イギリス	医薬品・バイオテクノ・ライフ	1.95%
10	SANOI-AVENTIS	フランス	医薬品・バイオテクノ・ライフ	1.80%
合計				22.27%
組入銘柄数				265銘柄

上記銘柄は、推奨または取得の申込みの勧誘を行うものではありません。

当投資信託の運用コメントおよび今後の運用方針

投資信託の収益率は前四半期比+17.46%となりました。一方、ベンチマークであるMSCI欧州株価指数(為替ヘッジコスト相当分を調整して得たもの)の収益率は前四半期比+18.31%となりました。当期の欧州株式市場は、市場全体に対し比較的堅調であった銘柄が相対的に下落する基調にあり、当投資信託ではこれらの銘柄をベンチマーク対比で多めに保有していたことはマイナスへ寄与しました。委託会社独自の業種別では、上昇したその他金融を少なめに保有していたことや、下落した移動体通信、通信を多めに保有していたことはいずれもマイナスに寄与しました。個別銘柄では、下落した医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンスのRoche Holding AGや食品・飲料・タバコのNestle SA(スイス)を少なめに保有していたこと、また上昇した保険のOld Mutual plc(イギリス)を多めに保有していたことはプラスに寄与しました。

当投資信託の運用方針は、欧州企業の株式の中で、個別銘柄の市場価格が、適正と考えられる価格に比べて過小に評価されていると判断される「割安株」を選別してポートフォリオを構築することで、ベンチマークを中長期的に安定的に上回る運用を目指します。割安株の選別は、銘柄選択用クオンツモデル(定量分析)等により、個別企業の財務諸表および企業収益の変化等の要因からみた割安度に着目し、個別企業を詳細に分析・評価するボトムアップ・アプローチにより行なうことを基本とします。

将来の市場環境の変動等により、今後の運用方針通りに運用できないことがあります。

利用する投資信託について

(投資信託名) アクサ ローゼンバーグ・欧州株式ファンド(A) 適格機関投資家私募
(委託会社) アクサ・ローゼンバーグ証券投資信託顧問株式会社
(運用方針)

マザーファンド受益証券への投資を通じて、実質的に、主として欧州地域の企業が発行する株式を対象に投資を行い、個別銘柄の市場価格が、適正と考えられる価格に比べて過小に評価されていると判断される「割安株」(バリューストック)を選別してポートフォリオを構築することで、ベンチマークを中長期的にみて、安定的に上回る運用をめざします。外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行います。

当投資信託は、主としてアクサ ローゼンバーグ・欧州株式マザー・ファンド受益証券 適格機関投資家私募 に投資します。

設定来の騰落率は、投資信託の設定日(2001年10月16日)の前日を起点として計算しています。投資信託の騰落率は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。

また、投資信託の騰落率と実際の投資家利回りは異なります。

「BM」とは、ベンチマークを指します。ベンチマークは、MSCI欧州株価指数³(為替ヘッジコスト相当分を調整して得たもの/円ベース)です。

比率は、マザーファンド受益証券における純資産総額比となります。

セクター別構成比率

	セクター	マザーファンド
1	医薬品・バイオテクノ・ライフ	12.05%
2	銀行	10.96%
3	エネルギー	10.70%
4	電気通信サービス	10.07%
5	食品・飲料・タバコ	7.94%
6	素材	7.76%
7	保険	5.91%
8	資本財	5.80%
9	その他業種	26.80%
10	現金等	2.02%
合計		100.00%

・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しています。

・4ページ～8ページに記載されている「*1～*4」の用語説明は、9ページに記載しています。

[引受保険会社]

アクサ生命保険株式会社

お問合せ先: カスタマーサービスセンター

Tel 0120-778-133

アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/life/>

変額保険

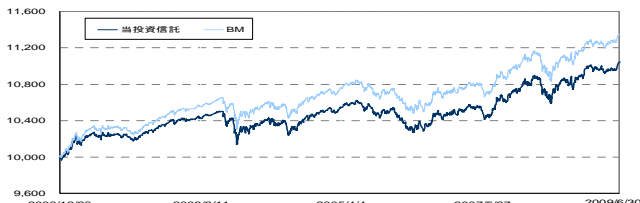
特別勘定の四半期運用レポート (2009年4月～6月)

- ・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- ・特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社の裁量の範囲外となります。
- ・当ページは、利用する投資信託の委託会社による運用報告を、アクサ生命保険株式会社が提供するものであり、内容に関して、アクサ生命保険株式会社は一切責任を負いません。

アクサ ローゼンバーグ・日本債券ファンド(B)〈適格機関投資家私募〉の運用状況

[2009年6月 末日現在]

■当投資信託の基準価額の推移



※ 投資信託の設定日(2000年12月21日)の前日を10,000として指数化しています。

■当投資信託の騰落率

	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定来
投資信託	0.78%	0.78%	0.45%	2.73%	6.98%	10.44%
BM	0.71%	0.93%	0.75%	3.20%	7.67%	13.53%
差	0.07%	▲0.16%	▲0.30%	▲0.46%	▲0.69%	▲3.09%

■利用する投資信託について

【投資信託名】 アクサ ローゼンバーグ・日本債券ファンド(B) 〈適格機関投資家私募〉
 【委託会社】 アクサ・ローゼンバーグ証券投資顧問株式会社
 【運用方針】

マザーファンド受益証券への投資を通じて、実質的に、原則としてわが国の公社債に投資を行い、ベンチマークを中長期的にみて、上回る運用をめざします。外貨建資産に投資した場合は、原則として為替ヘッジを行います。

※ 当投資信託は、主としてアクサ ローゼンバーグ・日本債券マザー・ファンド受益証券(適格機関投資家私募)に投資します。

- ※ 設定来の騰落率は、投資信託の設定日(2000年12月21日)の前日を起点として計算しています。
- ※ 投資信託の騰落率は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。また、投資信託の騰落率と実際の投資家利回りとは異なります。
- ※ 「BM」とは、ベンチマークを指します。ベンチマークは、日興債券パフォーマンス・インデックス(総合⁴、中期3年以上7年未満)です。
- ・ 比率は、マザーファンド受益証券における純資産総額比となります。

■マザーファンド受益証券の詳細情報

○ 資産構成

	修正デュレーション	マザーファンド
公社債	4.47年	99.95%
国債	5.11年	76.99%
地方債	0.00年	0.00%
特殊債・財投債	2.76年	5.52%
金融債	0.98年	0.54%
社債等	2.18年	16.90%
その他	0.00年	0.00%
短期資産等	0.00年	0.05%
合計	4.46年	100.00%

* 債券先物を含みます。

○ 公社債の格付別構成比率

格付区分	マザーファンド
AAA	6.68%
AA	84.58%
A	8.19%
BBB	0.55%
BB以下(無格付含)	0.00%
合計	100.00%

格付基準:

- ※ 海外格付機関の格付を優先します。
- ※ 海外格付機関の格付取得の無い発行体は、国内格付機関の格付を採用します。

※ 「修正デュレーション」とは、債券価格の弾力性を示す指標として用いられ金利の変化に対する債券価格の変動率を示します。

○ 組入上位10銘柄

順位	銘柄	国名	クーポン	償還日	格付		マザーファンド
					ムーディーズ	S&P	
1	第259回利付国債(10年)	日本	1.500%	2014年3月20日	Aa2	AA	6.75%
2	第257回利付国債(10年)	日本	1.300%	2013年12月20日	Aa2	AA	6.41%
3	第275回利付国債(10年)	日本	1.400%	2015年12月20日	Aa2	AA	6.15%
4	第254回利付国債(10年)	日本	1.400%	2013年9月20日	Aa2	AA	5.99%
5	第252回利付国債(10年)	日本	1.000%	2013年6月20日	Aa2	AA	5.56%
6	第269回利付国債(10年)	日本	1.300%	2015年3月20日	Aa2	AA	5.29%
7	第296回利付国債(10年)	日本	1.500%	2018年9月20日	Aa2	AA	4.42%
8	第70回利付国債(5年)	日本	0.800%	2013年3月20日	Aa2	AA	4.37%
9	第273回利付国債(10年)	日本	1.500%	2015年9月20日	Aa2	AA	4.22%
10	第285回利付国債(10年)	日本	1.700%	2017年3月20日	Aa2	AA	3.40%
合計							52.56%
組入銘柄数							60銘柄

※ 上記銘柄は、推奨または取得の申込みの勧誘を行うものではありません。

■当投資信託の運用コメントおよび今後の運用方針

投資信託の収益率は前四半期末比+0.78%、一方、ベンチマークである日興債券パフォーマンス・インデックス(総合、中期3年以上7年未満)は前四半期末比+0.93%となりました。

当期の当投資信託は、ベンチマークを下回りました。最初の2ヶ月は市場の上昇が予想以上に大きく、結果、当投資信託はアンダーパフォームしました。当期は全般的にデュレーションを短めに維持していましたが、期末に向けてはベンチマークに対して中立としました。景気後退は今後も暫く続くだろうと考えられる中、経済指標の改善や国債の新規発行といった要因により市場の上昇は抑制されることが予測されました。期末までこの状況は続き、債券市場は当四半期の高値で終わりました。当投資信託は信用市場への投資は現行のまま維持し、ベンチマークを上回る収益機会を狙って短期のサムライ債(円建外債)に集中しました。

今後については、日本債券市場は、はっきりとした方向性的見通しはたてづらく、レンジ内での推移になると考えています。市場はまだしばらく景気後退が続き、株式市場の修正が起こると予想しています。このような状況の中で、長期債の投資タイミングを見きわめて参りますが、翌四半期にそのような機会があると考えています。信用市場では、翌四半期には更に新規発行があるようで、可能な限り現在保有している短期債よりも長い社債へ投資する予定です。

※ 将来の市場環境の変動等により、今後の運用方針通りに運用できないことがあります。

○ ポートフォリオの状況

	マザーファンド
平均複利利回り	0.94%
平均クーポン	1.29%
平均残存期間	4.65

※ 「複利利回り」とは、個別の債券等を満期まで保有した場合の複利利回りを加重平均したものです。あくまで、計算日時点の評価にもとづくものであり、売却や償還による差損等を考慮したものではありません。

・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しています。

・4ページ～8ページに記載されている「*1～*4」の用語説明は、9ページに記載しています。

【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社

お問合せ先: カスタマーサービスセンター

Tel 0120-778-133

アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/life/>

用語説明

- *1 「東証株価指数(TOPIX)」とは、東京証券取引所第一部に上場する国内株全銘柄を対象として算出した指数で、わが国の株式市場全体の値動きを表す代表的な株価指数です。
東証株価指数(TOPIX)は、株式会社東京証券取引所(以下「東証」)の知的財産であり、この指数の算出、数値の公表、利用など株価指数に関するすべての権利は東証が有しています。
東証は、TOPIXの算出もしくは公表の方法の変更、TOPIXの算出もしくは公表の停止、またはTOPIXの商標の変更もしくは使用の停止を行う権利を有しています。
- *2 「S & P 500種株価指数」とは、スタンダード・アンド・プアーズ社が公表している株価指数で、米国の主要500社によって構成されています。当該指数に関する一切の知的財産権その他一切の権利はスタンダード・アンド・プアーズ社に帰属しています。S & P 500種株価指数(為替ヘッジコスト相当分を調整して得たもの)は、S & P 500種株価指数(米ドルベース)に対し、委託会社が為替ヘッジコスト相当分を調整して、わが国の対顧客電信売買相場の仲値を用いて円ベースに換算したものです。
- *3 「MSCI欧州株価指数」とは、MSCI Inc. の算出する欧州株式市場の動きを示す指数です。MSCI欧州株価指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。
また、MSCI Inc. は、指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。MSCI欧州株価指数(為替ヘッジコスト相当分を調整して得たもの)は、MSCI欧州株価指数(ユーロベース)に対し、委託会社が為替ヘッジコスト相当分を調整して、わが国の対顧客電信売買相場の仲値を用いて円ベースに換算したものです。
- *4 「日興債券パフォーマンス・インデックス(総合)」とは、日興フィナンシャル・インテリジェンス株式会社が発表している、日本の債券市場の動きを表す指数です。国債、地方債、政府保証債、財投機関債、金融債、事業債などの円建て公募利付債で構成されています。対象となる債券は残存年数1年以上、残存額面10億円以上で、格付機関からBBB格相当以上の格付を取得している発行体に限られます。当該指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は日興コーディアル証券株式会社に帰属します。また、日興コーディアル証券株式会社は当該指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

注意事項

変額保険の仕組み

変額保険とは、保険金額が「特別勘定」の資産運用実績にもとづいて変動する生命保険です。

*特別勘定とは、変額保険にかかわる資産の管理・運用を行うもので、他の保険種類にかかわる資産とは区分し、独立して管理・運用を行います。

変額保険のリスクについて

市場リスク

特別勘定の資産運用には、株価の低下や為替の変動等による投資リスクがあります。場合によっては、お受け取りになる保険金額(有期型の場合、満期保険金を含む)や解約払いもどし金額の合計額が、払い込まれた保険料の合計額を下回る可能性があります。なお運用実績にかかわらず、死亡・高度障害時保険金は保証されています。

信用リスク

万一、引受生命保険会社が経営破綻に陥った場合、ご契約時にお約束した給付金等の金額が削減されることがあります。その場合、生命保険契約者保護機構により、保険契約者保護の措置が図られることがありますが、この場合にも、ご契約時の給付金等の金額が削減されることがあります。

【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社

お問合せ先: カスタマーサービスセンター

Tel 0120-778-133

アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/life/>